

## 第3回実行委員会開催！！

次第にお互いの顔も覚え、和やかな雰囲気で学習や  
交流が行われています(^^)/✿

- 【1日目】
- アイスブレイク
  - 学習講演
  - 学習・感想SGD
  - 交流会

アイスブレイクでは、zoomならではのカメラ機能を使用して、絵しりとりや連想ゲームを行いました。皆の絵のセンスが問われます@@

10秒間で書き上げる時間との勝負、いかに特徴を掴んだ絵を書くかがポイント。ペンと紙で手軽にできる上に、各班大いに盛り上りました！

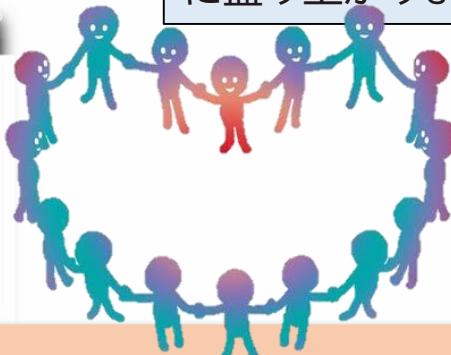
## 青年期喪失の若者たち

子ども期から成人期への移行期である青年期が「社会」に目覚めることによって成り立つ(ルソー『エミール』)のに、新自由主義が「社会」を解体している現在、大人になりたくない「若者」が急増しました。

「社会」とは憲法が規定している社会権(生存権、教育を受ける権利、労働の権利、労働者の団結権・団体交渉権・団体行動権)によって成り立っている「社会」である。この福祉国家の社会が新自由主義で解体され続けています。

「おとなになるより、子どものままでいたい」と思う大学生は56%もあり、多くの若者は「身近な人たちとなごやかな毎日を送る」と生活目標とする「身近で小さな幸せ」に内閉化している。

(片桐新一『不安定社会の中の若者たち』一大学生調査から見るこの20年』世界思想社、2009年)



## 学習講演 「世界の若者と共に 今の冷たい社会を変えていこう」

東京都立大学特任教授 宮下与兵衛先生

イギリス・アメリカ・日本政府は福祉国家から新自由主義に転換。企業の利益追求を自由にした結果、派遣労働や非正規雇用→ワーキングプアを生み出す結果となりました。福祉・教育を切り捨て、自助・共助の考え方により社会的格差が生まれました。海外の若者の選挙への参加率と日本の若者を比べると大きな差があります。日本政府にとっては政治に無知な国民が多い方が都合がいいのです。なぜなら、好きなように政治活動、政策ができるから。果たしてこのままでいいのでしょうか？これから日本の未来を担う若者たちに問い合わせます。

## ～感想～

- ✚ 各国の学生の学びや、アクション、変えていく力を知りました。
- ✚ 海外と日本の違いに驚きました。
- ✚ 社会や政治について学ぶことが出来るのが民医連。今度はそれを若い世代に正しい知識を与える機会を作つてあげるべきだと思った。

- ✚ 楽しく集中して聞くことが出来ました。
- ✚ 新自由主義における「勝ち組・負け組」の価値観はまさに高校時代、進学校に通っていた自分が経験した出来事であった。
- ✚ 海外の若い世代は政治に興味があり、自分の意見を持っているのは教育のおかげだと知ることが出来た。

